

2023年度第1回ステップアップ研修会
参加報告書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	令和5年度大阪府民スポーツ大会バスケットボール競技						
●日程	令和5年5月27日 (土)						
●会場	千島体育館						
●講師	大阪府審判委員会IR						
●スケジュール	令和5年5月27日 (土)						
	10:30 開講式 12:00 PGC 12:45 コートイン、コートインスペクション 13:00 ゲーム開始 17:00 閉講式						
●担当試合	令和5年5月27日 (土) 13:00～						
対戦カード	STAND PLAY		VS		大阪経済大学A		
主審	CC	田中孝史氏	U1	國守幹彦氏	U2	永井琉太	
講師/主任	茅野修司氏						
講評	・ゲーム中の大きなコンタクトへ対して、決断力が足りない ・2Qの序盤に起こったクリアパスはC4ケース ・プレゼンテーションの工夫や見た目を力強く堂々と見せる						
自己の感想	本ゲームの反省点は、試合を通して判定への決断力が不足していた点です。ゲーム後の講評でも頂きましたが、ビッグインパクト(ブロック・チャージ・ショット後の着地)へ対して判定ができていなかったというように考えます。また2Qの序盤に今年度ルール改正がされたクリアパスC4の事象が起りましたが、自分はマージナルとみてノーコールにしました。しかし、事象の前後や周りの状況を振り返ったときに笛を入れるべきであったというように考えます。 以上より今後の課題として、プレーコーリングの理解や影響など知識を高め、決断力へ繋げる必要があると考えました。また立ち姿やプレゼンテーション、笛の音など見せ方を工夫し、堂々としたレフェリングができるよう意識していきます。 最後ではありますが、本講習会開催にあたってご指導を賜りました大阪府審判委員会IRの皆様へ心より御礼申し上げます。また本大会に参加させて下さいました、大阪府審判委員会の皆様へ心より御礼申し上げます。大会準備やTOを行なって下さいましたにチーム関係者の皆様へ心より感謝申し上げます。						

第 1 回 ス テ ッ プ ア ッ プ 研 修 会

参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	令和5年度大阪府民スポーツ大会バスケットボール競技						
●日程	令和5年5月27日 (土) ~			令和5年6月17日 (土)			
●会場	千島体育館 他						
●講師	黒岡 和哲 様 茅野 修司 様 細見 竜太 様 大倉 哲也 様						
●スケジュール	令和5年5月27日 (土)						
	10:15 開講式 10:30 更衣後PGC 12:15 コート入り、コートインスペクション 12:30 tip off						
●担当試合	令和5年5月27日 (土) 12:30 ~						
	対戦カード	SCRAP		VS		クレバー	
	主審	CC	河崎 亮介氏	U1	山口 翔	U2	貝崎 壘斗氏
	講師／主任	細見 竜太様					
	講評	1試合通じ、ゲームと向き合う姿勢、今日に掛ける思い、準備していたことがコート内で表現できており、好印象でした。また、声を使ってゲームをリードしている場面では、見ている人に分かりやすく、良かったです。トラベリングについては、序盤でのクレバー8番の2回目のコールは少し厳しいと感じましたが、試合を通じて徹底して吹いていたことは、一貫性があった良かったです。気になる点については、コールの仕方がどの場面でも同じようか感じがするので、音の強弱、長さ、アテンションホイッスルなど使い分け、場面にあった表現ができるともっと良いと感じました。チャレンジして見て下さい。					
	自己の感想	序盤から両チームの足元の緩みが気になり、1Qから吹き続けられたことは良かったが、成立が微妙だったり、コールザオビアスの観点から、吹かなくてもよいものもあった。メカニクスに関して、basicなメカを試合を通して実践できるように心がけた。ローテーションも積極的に行ったところはいいとこだが、タイミングなどで本当に行くべきかどうかはもっと考える必要がある。プレーコーリングに関して、明らかなファールであるものに関しては、吹き逃すこともなく、3人クレーで明らかな基準を指し示すことができたと感じている。アングルなどを使って、オビアスなものに笛を入れることもできたので、良かったと思う。 最後ではありますが、本講習会開催にあたり、ご指導を賜りました近畿IR部会・大阪府審判委員会インストラクターの皆様へ心より御礼申し上げます。また、本大会に参加させていただきました、大阪府審判委員会の皆様へ心より御礼申し上げます。大会準備やTOを行っていただきました関係者の皆様、並びにチーム関係者の皆様へ心より感謝いたします。					

2023年度 第1回ステップアップ研修会 参加報告書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	令和5年度大阪府民スポーツ大会バスケットボール競技		
●日程	令和5年5月27日	(土) ~	令和5年6月17日 (土)
●会場	千島体育館 他		
●講師	細見 竜太 様 大倉 哲也 様 黒岡 和哲 様 茅野 修司 様		
●スケジュール	令和5年5月27日 (土)		
	10:40 開講式 10:45 講師講話 11:30 実技開始 13:00 PGC 14:15 コートインスペクション 14:30 Tip off 17:15 閉講式		
●担当試合	令和5年5月27日 (土) 14:30 ~		
	対戦カード	大阪経済大学B VS 履正社国際医療スポーツ専門学校	
	主審	CC 森 照代 氏	U1 増田 知真 U2 辻 良平 氏
	講師/主任	大倉 哲也 様	
	講評	<ul style="list-style-type: none"> ・学生同士の試合でゲームスピードや運動能力もあり、コンタクトの多いゲームだった。 ・1Qからインパクトに対して、コールをしてく姿勢が良かった。 ・2Q、3Qで流れが大きくかわりコンタクトの仕方も変化した。そのようなときに審判としてどのように判定していくかは、今後の精査していくべきところである。 ・オフェンスが、意図していなくてもDFと大きくコンタクトしてピックインパクトになるケースは、どちらかに(試合のケースの場合だとチャージング)判定してコールしてもよかった。 ・グットコールのあとのコールをもっと見極めた方がよかった。次のコールによって、前のグットコールがどのように試合に影響するかが決まる。 ・オヴィアスなコールを積み重ねることが、ゲームコントロールに繋がるので、もっとシンプルにコールしてもよかったのではないかな。 ・イリーガルなコンタクトに対して、しっかりコールすることでゲームを落ち着かせる事ができるようトライするほうがよい。 	
	自己の感想	<p>大学でいう1年生・2年生の年代が主体の履正社国際医療スポーツ専門学校と、大学1部のBチームという対戦でした。1Qでは、ファーストコールから3pのプロテクトシューター・セカンドコールでオフェンスファールという始まりでしたが、シンプルにコールしていくことを意識していました。ただ、オフェンスファールの後のブロックorチャージに関しては、ノーコールと判定しましたが、この流れで行くとコールをしてどちらか決める選択肢も大いにあったと感じました。2Qから徐々にディフェンスの距離が近くなりコンタクトやフィジカルを使ってプレーすることが多くなりました。それと同時に、自分自身、コールをしてもいい接触があったのに決断せず迷いが生じていました。もっとコールザオビアスを意識して、コンスタントに笛を入れていってもよかったかなと映像を見返して感じました。講評でもいただいたとおり、流れが変わって、コンタクトの様相が変わっていった時に、審判としてなにをコールしていくのか、どのように立ち振る舞うのかは今後もっと考えていく必要があると感じました。ゲームの中で、必ず流れが変わる時はあるので、その時にどう判定を見出していくかは今後の課題です。</p> <p>また、クロック管理・表示物の管理に関しては、1Qからミスをしてしまいました。特に普段の試合から苦手意識をもっている課題なので審査の場で、チャレンジしてミスをしてしまったことは、まだまだと感じました。ただ、同じクールのかたから訂正していただけだったので、処置としてはよかったです。今後の審判活動として、わかっているのに訂正しないのを無くしていきたいので、今回のように間違った訂正をしてもクルーが助けてくれると信じて、今後もっとチャレンジしていきたいと思いました。</p> <p>最後ではありますが、本講習会開催にあたり、ご指導を賜りました近畿IR部会・大阪府審判委員会インストラクターの皆様へ心より御礼申し上げます。また、本大会に参加させていただきました、大阪府審判委員会の皆様へ心より御礼申し上げます。大会準備やTOを行ってくださいまた関係者の皆さま、並びにチーム関係者の皆様へ心より感謝いたします。</p>	

2023年度 第1回ステップアップ研修会

参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	令和5年度 大阪府民スポーツ大会バスケットボール競技						
●日程	令和5年5月27日 (土)						
●会場	千島体育館						
●講師	大阪府審判委員会インストラクター						
●スケジュール	令和5年5月27日 (土)						
	12:00 PGC						
	12:45 コートイン 13:00 トスアップ						
●担当試合	令和5年5月27日 (土) 13:00 ~						
	対戦カード	STAND PLAY			VS	大阪経済大学A	
	審判	CC	田中 孝史	U1	國守 幹彦氏	U2	永井 琉太氏
	講師／主任	茅野 修司 様					
	講評	Gameの序盤、OFFoulの判定のケースで、OF・DFどちらのFoulなのか分からないプレゼンテーションなので、しっかりとプレゼンテーションをする。特にGameの最初なので締まらない。2Qの最後のブロックorチャージのケースはPrimaryが判定出来なければ、セカンダリ・サードリがCCMを出し決断しないとイケない。速攻でC4(クリアパス)のケースはどうだったか？IRから見たらUFだと思う。ショットクロックは随時確認しているとは思けど、スローイン開始時には意識して欲しい。					
自己の感想	開講式にIRの方が言われていた、決断力が無かったのが反省点。Big ImpactのケースはPrimaryが判定出来なかつたら、セカンダリ・サードリが判定する決断力が必要だと強く感じた。スローインの際はショットクロックやメインクロックの確認を怠らないようにしないとイケないと思った。RSBQをしっかり理解し、簡単にfoulcallをするのではなくmarginalの判定を増やす事を意識し取り組んだもののObvious Impactを逃しては意味がなく、CCとしてGCをする事の難しさを痛感した。今自分がやってきている事以上の準備をしてGameに望まなければならない。自身の力不足を思い知り、相当な変化が必要であり、一試合一試合無駄にすることなく力をつけていきたいと感じた講習会であった。最後になりましたが、ステップアップ研修会を企画運営、また開催して頂きました大阪府バスケットボール協会審判委員会の皆様、大会を運営をされておりました、大阪府バスケットボール協会競技会委員会の皆様、有難う御座いました。						

2023 年 度 第 1 回 ス テ ッ プ ア ッ プ 研 修 会

参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	令和5年度 大阪府民スポーツ大会 バスケットボール競技		
●日程	令和5年5月27日 (土)		
●会場	千島体育館		
●IR	細見 竜太 様 ・ 大倉 哲也 様 黒岡 和哲 様 ・ 茅野 修司 様		
●スケジュール	令和5年5月27日 (土)		
	10:30 IR 集合・ミーティング 10:45 開講式 11:30 実技開始 17:00 実技終了・閉講式 17:15 IR ミーティング		
●担当試合	令和5年5月27日 (土) 11:30 ~		
	対戦カード	TABASCO	VS Ares
	主審	CC 池嶋 一幸	U1 重松 志保 U2 平出 圭佑
	IR	黒岡 和哲 様	
	講評	クルーとして、メカニクスやプレイコーリングについて特に問題はなかった。それぞれがプライマリーを判定する中で、アングルがクローズでプライマリーのレフリーが見えないケースについてもアングルを持っているパートナーがカバーしていて、クルーワークとして良かった。ゲームクロックが流しのローカルルールの中で、クロックについてもクルーとして気づいて修正していたことは良かった。一番のウィークポイントである「コンタクトに反応してコールしてしまう」ことがこのゲームでも1回あった。しかし、これまではそれが多くあったが、すぐにコールせずに見極めて、考えているなというように見えた。その点については引き続いて頑張ってもらいたい。レギュレーションの部分で「身につけていい物・ダメな物」などの確認なども大事。そのようなところを「まあいっか」にしてしまうことが、ゲーム中の「まあいっか」にどんどん繋がってってしまう。	
	自己の感想	自分の弱点である「反応してしまうコール」がないように意識して臨んだ。ゲームの中で1回起こってしまったが、プレイの前後にどんなことが起きているのか、起こりそうなのかを予測しながら判断することにトライできたので良かった。継続してトライしていきたい。クルーワークとしてカバーしあうことが1試合を通して3人でやることで良かったなと感じる。「まあいっか」で済ましてしまうことが、判定や管理の部分での「まあいっか」になってしまうということはハッと感じる部分があった。今度はそのような部分も大切にしてトライしていきたい。この研修会に参加させていただき、ありがとうございました。	

2023 年 度 第 1 回 ス テ ッ プ ア ッ プ 研 修 会 参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	令和5年度大阪府民スポーツ大会バスケットボール競技			
●日程	令和5年5月27日 (土)			
●会場	千島体育館			
●講師	細見竜太 様 大倉哲也様 黒岡和哲 様 茅野修司 様			
●スケジュール	令和5年5月27日 (土)			
	10:45 開講式 11:30 更衣後PGC 12:00 warming up 12:15 coat inspection 12:30 TIPP OFF			
●担当試合	令和5年5月27日 (土) 12:30 ~			
	対戦カード	SCRAP	VS	クレバー
	主審	CC 河崎 氏	U1,U2	山口 氏 , 貝崎
	講師/主任	細見竜太 様 太田令奈 様		
	講評	<p>前日に対戦カードが変更になったにも関わらず、できる限りの準備をしてゲームに臨んでいるのが感じられて良かった。クレーでこのゲームをどのようにしたいかが判定を通じて感じ取ることができた。1ゲームを通して好印象なクレーであった。</p> <p>一方で、気持ちが入りすぎているが故にダブルコールが目立った。プライマリーレフリーを信頼しシングルコールが望ましい。トラヴェリングの判定がクレーで不均衡であった。相手の判定をブックマークし三者の判定基準を均衡にするのを意識してもらいたい。プレーをもう少し長く見て、触れ合いの責任の吟味が必要である。ディフェンスのイリガールなコンタクトをシンプルにコールすることで、ゲームコントロールにも繋がる。セカンダリーでヘルプをするのは良いが、プライマリーレフリーの判定を考慮した上でコールするように。</p> <p>堂々と自信を持って判定しているときと、そうでない時でプレゼンテーションやデリバリーに違いが見て取れる。</p>		
自己の感想	<p>本研修会を受けるにあたり、「自分が感じたことを素直にコート上で判定を通して表現する」を課題として取り組みました。1ゲーム通して自分が感じたものを判定として表現できたと思います。一方で、相手プライマリーをコールしてしまったり、誤った感じ方をしてミスコールにつながっていたりしていました。プライマリーレフリーは誰なのか、自分の位置からは正確にプレーを捉えられないことを理解した上で信頼すべきでした。プレーを始まりから終わりまでもっと長く捉えることで、そのコンタクトの原因や責任が分かり、正確なプレイコーリングにつながると思いました。自信がない判定でのプレゼンテーションやデリバリーが分かりやすく見て取れるので、その自信無さは何が原因なのか、メカニクスなのかIOTなのか、バスケットボールの理解なのかを分析しようと思いました。</p> <p>最後になりましたが、このような貴重な研修会に携わって頂きました、大阪府バスケットボール協会審判委員会の皆様を始め、大会関係者の皆様はこの場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。</p>			

第 1 回 ステ ッ プ ア ッ プ 自 己 研 修 会

参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	令和5年度大阪府民スポーツ大会バスケットボール競技				
●日程	令和5年5月27日 (土)				
●会場	千島体育館				
●講師	細見 竜太 様				
●スケジュール	令和5年5月27日 (土)				
	10:45 開講式 11:30 実技講習開始 14:00 PGC 14:30 ウォーミングアップ 15:15 コートイン 15:30 トスアップ 17:00 閉講式				
●担当試合	令和5年5月27日 (土) 15:30 ~				
	対戦カード	BLACK JACK		VS	新撰組
	CC	正水氏	U1	北野	U2 中川氏
	講師/主任	細見 竜太 様			
	講評	・AOSの判定についてギャザーがいつのタイミングなのか確認が必要。特にダブルコールからのミスに繋がったため、シングルコールで判定するためのプライマリの理解が必要。 ・どの時間においても、ファウルとマージナルの判定についてや責任の所在やPOCを正しく判定する必要がある。 ・TFの後の再開方法をもっとスムーズにわかりやすく。			
	自己の感想	AOSの判定で、ダブルコールになりそれが自分のなかでノイズになってしまい、正しいAOSの判断にもっていけなかったため、プライマリや笛のタイミングを考える必要がある。ゲームの終盤での判定も、正しい分析まで行って判定できなかったことは反省である。EOQ、EOGでの正しい判定力を磨く必要を強く感じた。2QでのLからは難しいショットファウルを判定したが、POCが正しくなかった。もう少し分析したなかで判定し、ケイデンスホイッスルにすれば良かった。ローカルルールの試合ではあったが、1試合を通して、自分のなかではクロックへの意識を常にもち続けFTなどの修正が必要な時にいくつか修正できたのは良かったが、何かしらの処置の訂正をする際にクロックの修正をできなかったことはよくなかったように思う。 最後になりましたが、今年度初めてのSU研修会をひらいてくださった、大阪府バスケットボール協会審判委員会の皆様に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。			

第 1 回 ス テ ッ プ ア ッ プ 研 修 会 参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	令和5年度大阪府民大会スポーツ大会バスケットボール競技大会					
●日程	令和5年5月27日(土)					
●会場	千島体育館					
●講師	細見竜太 氏、大倉哲也 氏、黒岡和哲 氏、茅野修司 氏					
●スケジュール	令和5年5月27日 (土)					
	10:45 開講式 11:00 実技開始 17:00 閉講式					
●担当試合	令和5年5月27日 (土) 14:30 ~					
	対戦カード	大阪経済大学B		VS	履正社専門学校	
	主審	CC	森	U1	増田	U2 辻
	講師/主任	大倉 哲也 氏				
	講評	<p>・ゲームフローをどう感じていたのか。2Qの途中からゲームの様子が少し変化しており、コンタクトが増え始めている中で、それをどう感じてどうとらえるのかが出来ていなかった。</p> <p>・ショットクロックの管理が出来ていなかった。14秒以下でのファールなのか、14秒以上でのファールなのかで、ショットクロックを確認してのゲーム再開が徹底できていなかった。</p> <p>・3人でのコールがあった時に、プライマリーでないレフリーがコールしてしまった時の心情はどういう状態なのかを分析して修正していくことが大切。</p> <p>・コールが必要なケースで、確認できていないポジションアジャストが出来ていない。工夫する必要がある。</p>				
自己の感想	<p>ゲームのフローを感じ取って、どのようなプレーにコールをしてゲームをコントロールしていくかを感じ取れていなかった。そういったことも考えて感じ取ることができていれば、もっと、プレーを見に行くためにポジションアジャストができたと思う。ショットクロックもゲームの後半から操作する人が変わった時点で、もっと注意をはらって確認する必要があった。今回のゲーム全体を通じて、もっとゲームに入り込んで、レフリーとしての役割を理解して、ゲームをコントロールする判定をしていかなければいけないと思った。</p>					

2023年度 第1回ステップアップ研修会 参加報告書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	令和5年度大阪府民スポーツ大会バスケットボール競技		
●日程	令和5年5月6日	(土) ~	令和5年6月17日 (土)
●会場	大阪市立千島体育館、東淀川体育館、丸善インテックアリーナ		
●講師	黒岡 和哲 様、茅野 修司 様、細見 竜太 様、大倉 哲也 様		
●スケジュール	令和5年5月27日 (土)		大阪市立千島体育館
	10:45 開講式 11:30 更衣後PGC、終了後W-up 12:15 コートin、コートインスペクション 12:30 実技開始 17:00 閉講式		
●担当試合	令和5年5月27日 (土) 12:30 ~		
	対戦カード	SCRAP	VS クレバー
	主審	主審 河崎	U1 山口 翔 氏 U2 貝崎 墨斗 氏
	講師/主任	細見 竜太 様	
	講評	<ul style="list-style-type: none"> ・クルー全体の立ち姿、声を使ってリードしようとする姿は非常に良かった。 ・トラベリングの判定をクルー全体でもっと一貫性を持って判定した方が良かった。 ・ダブルホイスルは悪くないが、本来誰がプライマリーなのかを常に判断して判定し続けてほしい。ケイデンスホイスルをもっと使った方が良かった。 	
自己の感想	<p>事前にクルーから頂いた映像をもとにスカウティングをし、クルーにプレカン資料を送るなど、CCとして審査会に向けて出来る限りの準備を行なってきましたが、直前に担当試合が変更になってしまいました。ただ、当日のPGCでは気持ちをしっかりと切り替え、クルーと気持ちを高め合うことができ、良い状態で試合にのぞむことができました。最後まで集中して取り組むことができたのはクルーのおかげです。今回同じクルーになった山口氏、貝崎氏には本当に感謝しています。</p> <p>試合内容としては、点差が開いたゲームでしたが、いかに最後までお互いが全力で取り組むことができるようにゲームコントロールできるかを意識して取り組みました。プレイコーリング、メカニクス、IOTはもちろんですが、声を使ってゲームをリードする姿勢をクルー3人で最後まで示すことができたのが一番の収穫だと思います。個人としては、POCやプライマリーの理解にまだ課題がありますが、今回の試合を担当させていただき多くのことを学ぶことができました。</p> <p>コロナもようやく落ち着き、本講習会を開催するにあたって様々な準備をしていただき、今年度1回目の研修会を開催していただいた大阪府バスケットボール協会審判委員会の皆様に深く感謝申し上げます。</p>		

2023年度第1回ステップアップ研修会 参加報告書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	令和5年度 大阪府民スポーツ大会バスケットボール競技		
●日程	令和5年5月27日 (土)		
●会場	千島体育館		
●講師	大阪府審判委員会IR 黒岡和哲氏・茅野修司氏・細見竜太氏・大倉哲也氏		
●スケジュール	令和5年5月27日 (土)		
	10:45 開講式 11:30 実技開始 17:00 実技終了・閉講式		
●担当試合	令和5年5月27日 (土) 11:30 ~		
	対戦カード	TABASUKO	VS Ares
	主審	CC:池嶋 一幸氏 U1:重松 志保 U2:平出 圭佑氏	
	講師/主任	黒岡 和哲 氏	
	講評	<p>・ローカルルールによってクロックが流しの中、意識して取り組んでいたのが伝わってよかった。だが、ローカルとはいえ、どの大会でも競技規則はどのように適用されているのかなど、しっかりと把握することが重要である。ものごとの決まりなど境界線であるべきところをしっかりとっておかないと、至らないところが判定の場面やCCMの場面などに反映されるため注意が必要。</p> <p>・個人としては、primaryやsecondaryを意識してcallしているところが伝わってよかった。また、課題としては魅せ方に工夫が必要。</p> <p>・メカに関しては、崩れてしまうケースがあってもクルーでコミュニケーションをとってしっかりと修正し取り組んでいた。ただし、リードに関してローテーションのタイミングなどの工夫やクルーでの決まり事など、もう少し明確に共有しあうことで、防げるところがある。</p> <p>・バイオレーションの整理(特にトラベリング)</p>	
自己の感想	<p>まず初めに、集合型で行う研修会が約4年ぶりの実施で、本研修会を開催するまでにご尽力いただきました講師の皆様、誠にありがとうございました。</p> <p>さて、今回の研修会を振り返って、担当講師の黒岡様にご好評いただき、これまでの積み重ねてきたことや今後に向けての課題など改めて明確になり、実りある研修会だったと実感しております。</p> <p>その中で、T positionやC positionの取り方など課題はありますが、準備してきたことが発揮できたように思います。ですが、L positionからrotationや、presentationの工夫が弱点だということが、改めて考えさせていただきました。意識一つで変わるところなので、今後の審判活動の中で良い点は継続しながら、弱点を克服していけるように、映像検証やたくさんの方のレフェリングを見て自己研鑽に励みます。</p> <p>本日はありがとうございました。今後ともよろしく願います。</p>		

2023 年 度 第 1 回 ス テ ッ プ ア ッ プ 研 修 会 参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	令和5年度大阪府民スポーツ大会バスケットボール競技		
●日程	令和5年5月27日 (土)		
●会場	千島体育館		
●講師	細見 竜太 様・大倉 哲也 様 黒岡 和哲 様・茅野 修司 様		
●スケジュール	令和5年5月27日 (土)		
	10:45 開講式 11:30 実技開始 17:00 実技終了・閉講式		
●担当試合	令和5年5月27日 (土) 15:30 ~		
	対戦カード	BLACK JACK	VS 新撰組
	主審	CC 正水 剛	U1 北野謙悟氏 U2 中川 緋菜氏
	講師／主任	細見 竜太 様	
	講評	<ul style="list-style-type: none"> ・ローテーションのタイミングについて、ボールの位置だけでローテーションを行っているが、ボールマンの目線や、スクリーナの向きなどの情報を得てローテーションのタイミングを工夫すること。 ・AOSについて、相手のコールであってもCCMを発揮し訂正すること。またギャザーのタイミングを確認し正確は判定ができるようにすること。 ・ダブルコールになった時、バスケットカウントや、シューターなどを忘れることがあるので注意すること。 	
	自己の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・1試合通して接戦であったが、明らかなものを逃さず判定できていたと思います。このことから穏やかなゲーム展開になったと感じています。 ・TFの処置については正確に対処できましたが、プレー再開後にプレーヤーから何があったか・再開方法について説明を求められたので、プレーヤーとのコミュニケーションをとることやデリバリースキルが必要だと感じました。 ・アウトオブバンズの訂正などではCCMが発揮できましたが、AOSの間違いを感じておきながら、訂正や相手審判とのコミュニケーションをとることなくプレーを続行させてしまいました。アウトオブバンズ以外でもCCMを発揮できるようにしたいです。 <p>最後になりましたが、今回の講習会を企画して下さいました皆様に感謝申し上げます。</p>	

2023 年 度 第 1 回 ス テ ッ プ ア ッ プ 研 修 会

参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	令和5年度 大阪府民スポーツ大会バスケットボール競技					
●日程	令和5年5月27日 (土)					
●会場	千島体育館					
●講師	大阪府審判委員会IR (細見 竜太 様、大倉 哲也 様、黒岡 和哲 様、茅野 修司 様)					
●スケジュール	令和5年5月27日 (土)					
	10:15 開講式 11:00 実技開始 17:00 実技終了・閉講式					
●担当試合	令和5年5月27日 (土) 11:30 ~					
	対戦カード	TABASCO		VS		Ares
	クレー	CC	池嶋 一幸	U1	重松 志保 氏	U2 平出 圭佑 氏
	講師／主任	黒岡 和哲 様				
講評	<p>・1試合通して大きなトラブルもなくゲームコントロールができていた。瞬間的な判定もほとんどなく、影響を見てコールできていた。</p> <p>・トラベリングの判定をもっとするべき。細かい判定はしなくてよいが、モアステップなど明らかなものに関しては取り上げていく。ゼロステップの導入で捉え方は人それぞれだが、「0、1、2、3」ではなく、「1、2、3、4」としてプレイを見るなど自分に合った方法を探す工夫もある。</p> <p>・メカが崩れる原因はタイミングの悪いローテーションとセンターの気づきの遅さにあることが多い。ミスの後にはどれだけクレーで修正できるかが大切になってくる。</p> <p>・試合に入る前に大会の規定を必ず確認する。JBAの競技規則とローカルルールがどこまで混合しているのか。身につけるもので合ったり、ウェアに関しても今日のゲームは違和感がたくさんあった。「これくらいいいだろう」の積み重ねがゲームを崩すことになるので、事前にレギュレーションは確認する癖をつける。</p>					
自己の感想	<p>・今の自分が置かれている立場とは何かを意識しながらゲームに臨みました。フレッシュさや勢いでゲームをコントロールするのではなく、この1年間勉強してきた「PGC」、「瞬間的な判定ではなく影響まで見てからの判定」、「クロック管理」、「ゲームフロー」、「プレゼン」、「コミュニケーション」など様々なことを考えてコートに立ちました。その成果もあり無事にゲームを終えることができました。その中で自分がプライマリであるにも関わらず、判定できないケースがあったので、その原因であるポジションアジャストやプレイの予測に関してはもっと研究する必要がある。</p> <p>・トラベリングの考え方を違う視点で講師の方から教えていただきました。何気ないことだが「なるほど、そういう考え方もあるのか」と新しい発見だったので、さっそく次からのゲームで実践したいと思います。</p> <p>・レギュレーションの確認はもっと入念にしておくべきでした。講師の方からポストゲームカンファレンスでもありましたが、「これくらい」がどんどん積もればゲームの価値がどんどん落ちてしまいます。基本的なことだが、そこも含めてゲームへの準備だと再確認した。</p> <p>・今回このような体験をさせていただきましたことに、大阪府審判委員会の皆様にご心より感謝申し上げます。この経験を次に活かしていきたいと思っております。ありがとうございました。</p>					

2023年度第1回ステップアップ研修会 参加報告書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	令和5年度大阪府民スポーツ大会バスケットボール競技						
●日程	令和5年5月27日 (土)						
●会場	千島体育館						
●講師	黒岡 和哲 様、茅野 修司 様、細見 竜太 様、大倉 哲也 様						
●スケジュール	令和5年5月27日 (土)						
	14:15 コートin 14:25~ PGC 15:30~ ゲーム開始						
●担当試合	令和5年5月27日 (土) 15:30 ~						
	対戦カード	BLACK JACK			VS	新選組	
	審判	CC	正水 剛 氏	U1	北野 謙悟 氏	U2	中川 緋菜
	講師/主任	細見 竜太 様					
	講評	<ul style="list-style-type: none"> ・AOSの判定。いつのタイミングでギャザーが始まったのか確認が必要。 ・TFの判定。どのタイミングで判定しコール後の再開方法など瞬時にルールに基づいて判定。 ・ポジションアジャストの工夫が必要。特に最後の一步又は半歩、そして体の角度の調整を工夫。 					
	自己の感想	<p>ゲーム後半からスムーズに進行できなかったことが大きな反省点でした。その原因の一つとして、AOSの判定やTFが起きた後の処置だと思いました。また、講評でもありましたが「ポジションアジャスト」がどのポジションでも甘いので、今後の大きな課題です。プレイを長く見て判定につなげるためには、どのマッチアップを捉え、どの位置にポジションをとり、最後に一步又は半歩、体の向きなどの工夫が必要です。普段、担当するカテゴリー以外の試合を経験し、自分自身がいかにバスケットのプレイに対する理解が不十分だったかを知りました。そして、1試合通して、ゲームとマッチしない判定もありました。安定したレフリングをするためには、メカニクスやプレーコーリングの理解。特にポジションアジャストの動きの工夫を身に付けることを重視し、今後の活動に活かしたいと思います。</p> <p>最後になりましたが、講習会を企画運営、また開催していただきました大阪府バスケットボール協会審判委員会の皆様、大会を運営されておりました大阪府バスケットボール協会の皆様に深く感謝申し上げます。</p>					

2023年度 第1回ステップアップ研修会 参加報告書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	令和5年度大阪府民スポーツ大会バスケットボール競技				
●日程	令和5年5月27日 (土) ~		令和5年5月27日 (土)		
●会場	大阪市立千島体育館				
●講師	細見 竜太 様 大倉 哲也 様 黒岡 和哲 様 茅野 修司 様				
●スケジュール	令和5年5月27日 (土) 10:30 IR 集合・ミーティング 10:45 開講式(原則全員参加) 12:00 PGC 12:45 コートイン 13:00 TipOff 17:00 閉講式				
●担当試合	令和5年5月27日 (土) 13:00 ~				
対戦カード	STAND PLAY		VS 大阪経済大学A		
主審	CC 田中 氏	U1	國守	U2	永井氏
講師/主任	茅野 修司 様				
講評	ゲーム中、いくつかのビッグインパクト(ブロック・チャージ、ショット時のコンタクトで大きく影響が出るケース)に対してコールする決断が足りなかった。 2QでのUF (G4)のケース、これもコールが必要だったように思います。 ファウルコールする根拠について、大きな影響があるものがノーコールで、影響が少ないものがコールされているケースが見受けられる。 一貫性を持たせるためにも、この点を見直すことが必要。				
自己の感想	ローカルルールでゲームクロックはさほど気にしなくてよかったぶん、ショットクロックに対してバックコートでファウルがありリセットしていなかったケースなどもっと敏感になるべきであった。ファウルコールに関しても明らかなものに対して判定が入れていないケースがある反面、判定が入っているものに関してはノーコールの判定でいいものや、判定するタイミングが課題であった。コロナ禍で実施できていなかった集まっての講習会を久しぶりに企画運営していた だき、大阪府バスケットボール協会審判委員会の皆様に感謝申し上げます。 ありがとうございました。				